

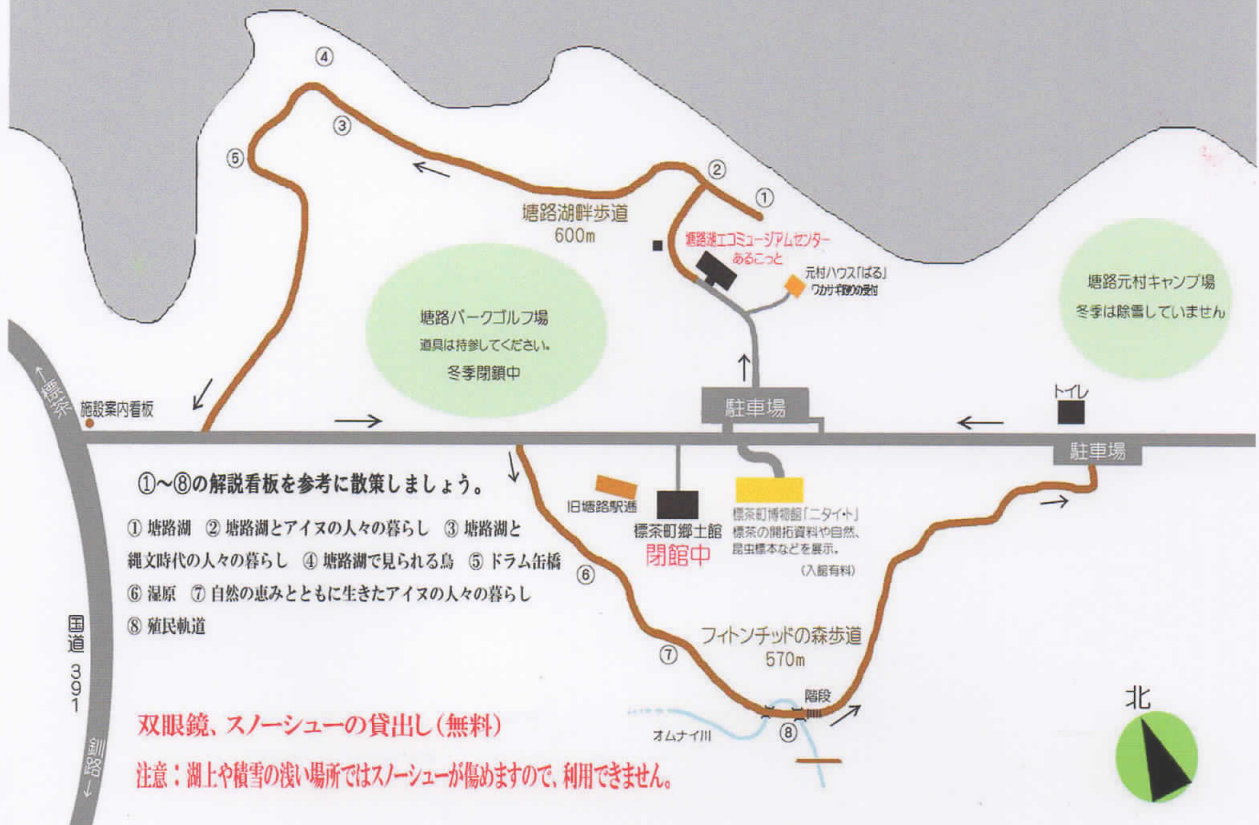


### 湿原散歩

雪と氷に閉ざされていた湿原は、気温の上昇とともに枯草が顔を出し始めてきた。湖の氷も岸边から徐々に消え、蒼く輝く水辺にはヒシクイやオオハクチョウが集まり、北上を控えて羽を休めている。そんな水鳥たちの近くでは、オジロワシやオオワシの群れが見え、どうやら水面に浮かんでいた鯉を狙っていた。餌の乏しい時季、隙があれば独り占めしようとする仲間の中にカラスの一群も加わり、やがて餌の争奪戦が始まった。せっかくの御馳走も瞬く間に影も形もなくなり、雪上には散乱した鱗だけがキラキラと輝いていた。

湧水などにより氷の薄い部分がありますので、  
散策には注意してください。

## 塘路湖



## 塘路フィールドノート【2/15～3/14】

### 【野鳥】

塘路湖畔では小鳥たちのさえずりが賑やかになってきました。また、2月下旬から暖かい日が続いたことで、塘路湖やシラルトロ湖は例年より解氷が早く、徐々に開き始めた水面にヒシクイやカモたちが集まってきています。



(オオ)ヒシクイ(シラルトロ湖)  
シラルトロ湖上空を通過する群れ。今春の飛来は2月下旬で、記録的な早さでした



ヨシガモ(塘路湖)  
今冬初めての確認。狭い水域と水際の氷上に5～6羽ほどで集まっていました



ミコアイサ(シラルトロ湖)  
パンダガモと言われる♂(両端)と地味な♀。他の水鳥に混じって少数見られます



シメ(塘路湖畔)  
パークゴルフ場で見つけた二羽。顔を出し始めた芝生で餌の木の实を探していました



ヒガラ(塘路湖畔)  
湖畔に響く「ツピンツピン」というさえずり。体は小さいですが、声の存在感は抜群です



キバシリ(塘路湖畔)  
木をかけ登ると思いきや、なぜか後向きに根元へバック。珍しい光景に出会えました

## ◎いつのまにかアオサギが…

今年も塘路湖畔にアオサギがやってきました。アオサギは夏鳥の先陣を切って飛来する野鳥で、これから秋まで塘路湖の湖畔にあるコロニーで子育てをします。

今年のアオサギの飛来確認は3月10日。昨年が3月6日なので、飛来時期は昨年とほぼ同じです。ただ一つ大きく異なっているのが、初確認時の状況。例年、アオサギは飛来直後はすぐにコロニーへ入らず、塘路湖やエオルト沼などの氷上で羽を休めているのですが、今年はなかなかその姿が見られませんでした。

ところが先日、ちらっとコロニーの方角を窺ってみると、なんとそこにはすでに10羽ほどのアオサギの姿が。これは今までほとんど見られなかったケースです。アオサギの行動パターンが変わったのか？それとも、実はもう何日も前から来ていて、たまたま氷上で羽を休めている姿を確認できなかっただけなのか、ちょっと気になるところです。



コロニーで羽を休めるアオサギ  
(31.3.15 塘路湖畔)



昨年の飛来確認時の状況  
(30.3.6 塘路湖)



親鳥(右)と幼鳥(左)  
(30.7.23 塘路湖)

## ◎花の季節到来！

3月も中旬に差し掛かった先日のこと、サルボ展望台下の斜面にキタミフクジュソウが咲き始めているのを見つけました。南向きで日当たりが良いこの斜面は雪解けが早く、例年塘路湖周辺では真っ先に花を咲かせる場所です。

昨年は2月の下旬に早くも花を咲かせていたキタミフクジュソウですが、今年は2月中旬の寒さが厳しかったせいか、昨年よりやや遅れての開花となりました。まだ開花数が少なく、しばらく探してようやく数輪見つかる程度ですが、これから次から次へと咲きだして、4月上旬には見頃を迎えるでしょう。

また、周辺では顔を出し始めたばかりのフキノトウもかなり目立ってきました。まだまだ朝晩は寒く、春というよりは冬の名残を感じる人が多い今日この頃ですが、この周辺だけは一足早く春を迎えているようです。



## ◎近いようで遠い春

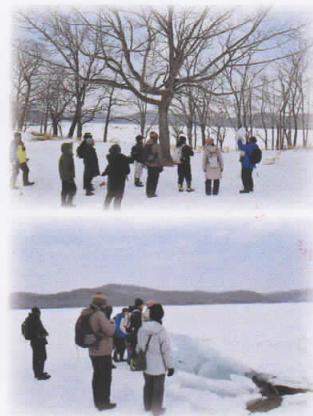


上の記事ではアオサギにキタミフクジュソウといった春らしい話題をお伝えしましたが、実はその記事の数日後、塘路湖畔に季節を逆戻りさせるような雪が降りました。2月の下旬から暖かい日が続き、順調に雪解けが進んでいた塘路湖畔ですが、この雪であっという間に冬の景色に逆戻り。せっかく芽生え始めていた春が一気にしぼんでしまった感じです。

しかも天気予報を見ると、この先も雪マークがちらほら。最低気温が $-10^{\circ}\text{C}$ を下回る日もあるようです。アオサギの飛来やキタミフクジュソウの開花で「いよいよ春！」と思ったのも束の間、本格的な春の到来は近いようでまだ遠いようです。

## ■雪解けが進む塘路湖畔で今年度最後の観察会

3月2日(土)、塘路湖畔で今年度最後の自然観察会を開催しました。当初はスノーシューでの散策を想定していたイベントですが、当日までに予想外に雪解けが進んでしまったため、今回はスノーシュー無しでの散策となりました。散策中は雪の間から顔を出し始めた植物や樹木について、当センターの職員が解説を行うとともに、オオハクチョウなどの水鳥やカラ類などの小鳥の観察を行いました。また、途中のフィトンチッドの森では、冬の間しか行けないアオサギコロニーや殖民軌道跡にも足を延ばしました。そして、最後をしめるのはやはり御神渡り。春の到来とともに消えゆく運命にある冬の風物詩を、参加者一同しっかりと見届けてイベントは終了となりました。(参加者12名)



## 4月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### ◎早春の湿原 野鳥観察会

[日 時] 4月20日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] シラルトロ湖・茅沼蝶の森周辺(集合は憩いの家かや沼駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### ☆春の足音を聞きに行こう

[日 時] 4月14日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

☆申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで (0154-65-2323)

◆日出・日入時間 2/15(6:20,16:53).2/28(6:00,17:10). 3/14(5:37,17:27)

～編集後記～

■雪解けも進み、ワカサギ釣りの終了した塘路湖やシラルトロ湖の水辺にはヒシクイやオオハクチョウ、アオサギなどの姿が見られるようになりました。フクジュソウも咲き始めた釧路湿原も徐々に春の装いと思ったら、12日の降雪で湿原は再び冬景色となってしまいました。春の彼岸に近いことを告げる雪は重たく、歳を重ねるごとに除雪作業には苦戦しますが、北国の春は一步進んで2～3歩後退しながら迎えます。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料